

F-11 都市における女子大生の生活時間の分析

大妻女大家政 ○八倉巻和子
村田 輝子
神保 洋子
工藤 英子
清水みよ子
前川 当子

1. 本校の女子大生を対象に1日の生活行動24時間を追跡し、その内容を分析することによって、学生生活の実態を把握し学習指導ならびに食生活指導に役立てることを目的とした。

2. 対象：家政系の学生4, 3, 2, 1年生467名について生活時間調査を実施した。

時期：昭和44年6月9日～14日のうち、学生生活の平日1日を自由に選択させた。

方法：生活時間票を配布し、各自の24時間の作業内容、動作を分単位に明記させた。

3. 1) 学校生活(束縛)・家庭生活(自由)に分類し、生活内容とその時間および消費熱量の関係を考察した。

2) 学生の1日を生理的、作業的(授業・家事)・教養慰楽の3つに大別し、その内容を細かに分析した。

3) 学生生活の共通した時間帯を設定し、そこで学生たちは何をしているかを求め、学生生活の実態を把握した。

4) 本調査は1女子大学にて行なったものであるため、同年代の女子の生活時間調査資料などとも比較検討した。